

保護者様

京都市立深草小学校
校長 徳留 祐悟

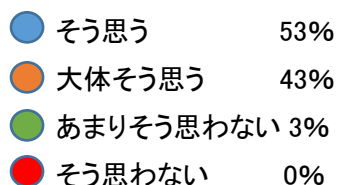
令和5年度 学校評価アンケート(2月実施)の結果

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

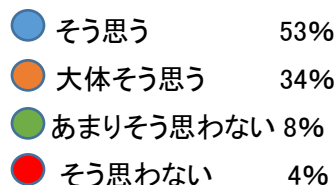
さて、2月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者の皆様からは237の回答(回収率41%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

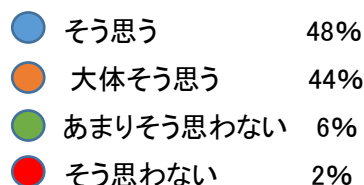
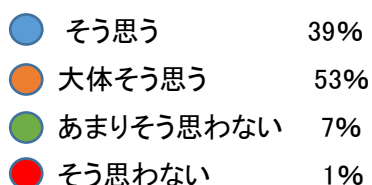
① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。



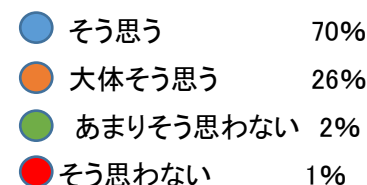
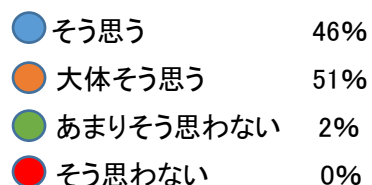
(児童)学校が楽しい。



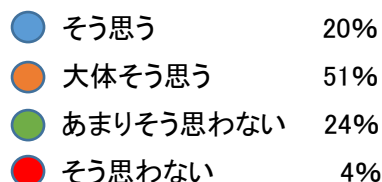
② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。



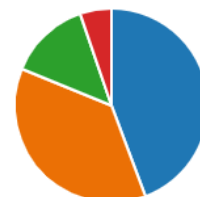
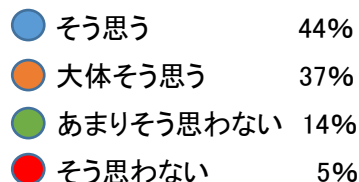
③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。



④ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでいる。

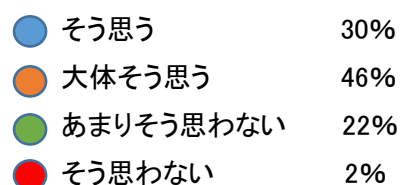


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

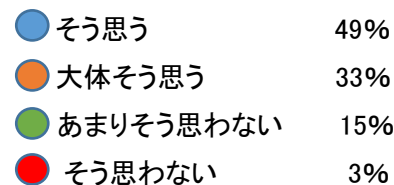


「自分から進んで挨拶をしている」と思っている児童が、7月は58%でしたが、2月は44%に減っています。実際に自分から元気よく挨拶が出来る児童は減っているように感じます。令和6年度は、教職員が率先して挨拶をするのは当然のこと、PTA・地域にも協力していただき「挨拶プロジェクト(仮)」などの取組を考えて、全体で取り組んでいきます。

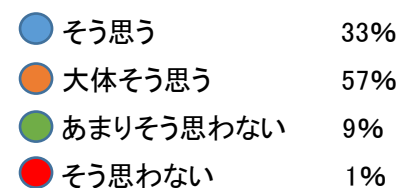
⑤ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。



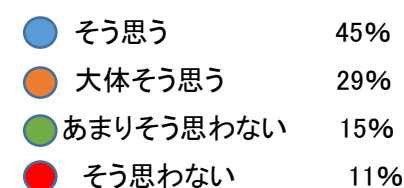
(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。



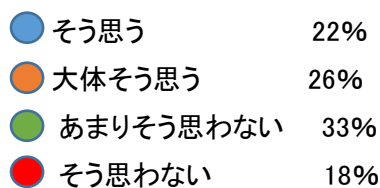
⑥ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。



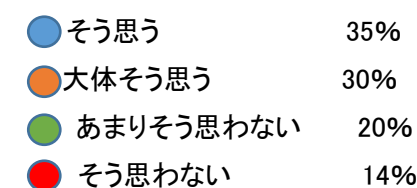
(児童)家の人に学校での様子を話している。



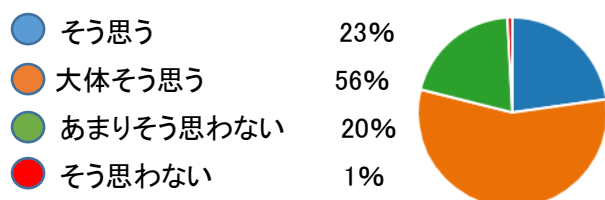
⑦ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が身についている。



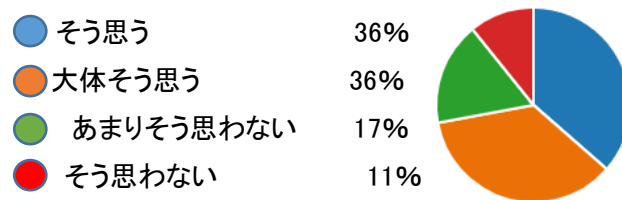
(児童)家で進んで読書をしている。



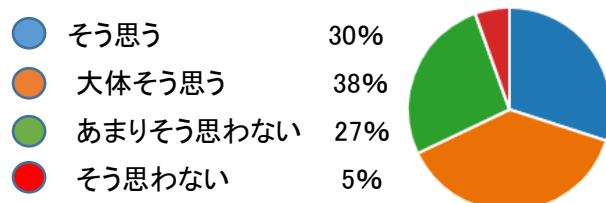
⑧ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりしている。



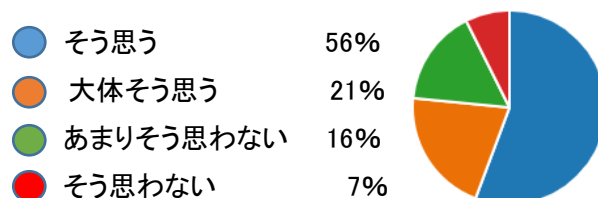
(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したりしている。



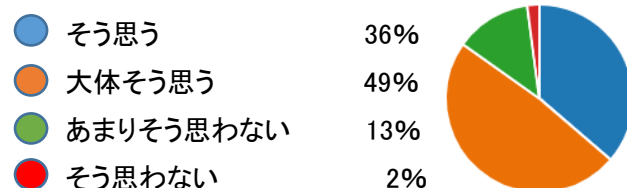
⑨ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が身についている。



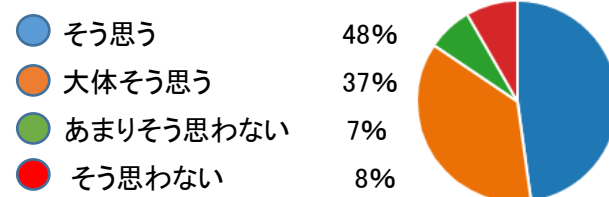
(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。



⑩ (保護者)子どもは、基礎的生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。



7月の調査と比べて最も大きな変化があった項目は、「⑧学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりしている。」です。7月の時点では、「あまりそう思わない・そう思わない」と感じている保護者が13%でしたが、2月の時点で21%に増えています。また、28%の児童が「あまりそう思わない・そう思わない」と感じています。これほど多くの保護者と児童が、学校は相談に乗ってくれないと感じていることを、重く受け止めております。教職員の多忙も問題にはなっていますが、できる範囲で今よりもっと誠実に保護者や児童の話を聞けるよう、教職員一同気を引き締めてまいります。担任だけでなく、学年や専科、学年主任や教務主任、管理職など教職員全体で対応しますので、話しやすい学校をさらに心がけていきます。